

知りたい！県庁

皆さんの質問にお答えします。

Q

過疎地域の活性化のために、どのような取り組みが行われているのか教えてください。

A

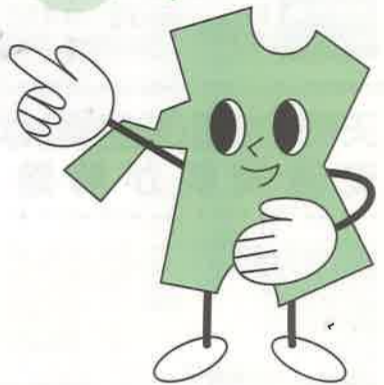
現在県内には、法律に基づき、過疎地域として四十九市町村が指定されています。これらの地域では、過疎に歯止めをかけるためにさまざまな取り組みが行われています。

Q

「県からのたより」を保存しやすいようにA4判にして、とじ穴をあけてもらえますか？

A

「県からのたより」へ貴重なご意見をいただきありがとうございます。本誌は県民の皆さんに県の重要な政策や事業などをお伝えする広報誌ですので、ご意見のように入力しやすいようA4判にしてとじ穴をあけることは、県でも検討させていただきます。



このような対策は市町村や県が中心に行っていますが、対策をスムーズに実施できるように、国による財政的な支援も行われています。

お問い合わせ先 熊本県地域政策課 特定地域振興班
☎096-383-1111 (内線3531) FAX096-381-9001
電子メール chii kiseisaku@pref.kumamoto.jp

皆さんにお伝えする情報量を減らす、誰もが読みやすい文字の大きさを確保すると、A4判にしてとじ穴をあけた場合、今よりページ数を増やさなくてはならず、とじ穴をあける作業も加わるため、経費が約三割増え、制作期間も長くなってしまいます。このような理由から、限られた予算と時間の中で県政情報をより効果的に伝えるためには、今までどおりのかたちが最善の方法だと考えています。どうぞご理解をお願いします。

お問い合わせ先 熊本県広報課 企画・広報班
☎096-383-1111 (内線3137)
FAX096-386-2040
電子メール kouhou@pref.kumamoto.jp

くまもと女性特派員レポート

個々の魅力を発信！

山鹿市豊前街道筋

空き店舗を利用した

魅力ある商店街づくり

山鹿市の八千代座に続く通り。この通りは、その昔、豊前街道と呼ばれていた参勤交代の道で、古くから栄え、今でも多くの商店が軒を連ねていることをご存じですか？

ただ以前と少し違うのは、シャッターが降り、営業をしていない店が点在することです。

今、全国的に地域の中心市街地が衰退しつつあります。今回、私は、山鹿市を訪ね、中心市街地活性化対策への取り組みを取り組む取材しました。

「以前は0人で、経営は全くの素人だったんです。」という野口さんは、出店者のお一人で、



新たな店が開業し元気を取り戻しつつある街並み

昨年、熊本県と山鹿市が共同で実施した「山鹿商人塾」に参加され、経営のノウハウや店のアイスプリーの仕方などを学んだそうです。また、この日は、地元のパラソニアが「旅先案内人」として老舗の酒蔵や麴屋、寺院などを案内する「米米窓門ツアー」が行われていました。このツアーは、自分たちの商店街を活性化するために、できることからやろうという地元有志の方々の発案で始まったそうです。中心市街地はその地域の歴史や文化が積み重なった「地域の顔」だと思います。今や大型店舗に行けば何でも買える時代ですが、私たち消費者の立場からも、買い物場所としてだけでなく、気軽な地域の交流の場として、大切にしていかなければならないと思いました。



おし花工房「花好房真央(はなこうぼうまお)」を経営する野口真央さん



くまもと女性特派員 上田 恵子さん (熊本市)

「以前は0人で、経営は全くの素人だったんです。」という野口さんは、出店者のお一人で、

